

は落ちて」を歌う。

○火の神入場

「燃えろよ燃えろ」を歌う。

○心の歌

「四季の歌」や「若者たち」を歌う。

○みんなで踊ろう

「マイムマイム」などのフォークダンスをする。

○各班の出しもの

いろいろな出しものを班員みんな披露する。

○静かな歌

「母さんの歌」や「ふるさと」を歌う。

○終わりのセレモニー

火の神が入場する。夜話として、印象的で心に残るお話を火の神がする。

火の神には、全員の代表として団長がなる。

火の神の誘導を行う火のみこには、副班長がなる。

また、火の守りの役には、副班長がなる。

○退場と後始末

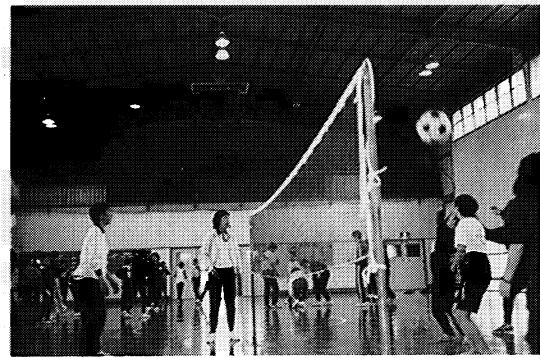
営火の後始末を各班の副班長と係の先生が行う。

※雨天の時は、キャンドルファイヤーを行う。

③ 浜辺での臨海活動

○ビーチバレーボール

班対抗で行い、細かいルールを決めないで、生徒の実態に合わせて試合をする。



体育館で行ったバレーボール

○砂を使って「相馬タワーをつくらう」

○水を使って「頭の熱をさませよう」

○水鉄砲遊びで「早撃ちはどのチームだ」

④ ミニ運動会

雨天時の活動であるが、できるだけ体を使ってよい思い出となるようにする。そのために、班ごとの意識を高め、友情を培うように工夫する。

△風船バレーボール▽

○班ごとに円陣をつくる。

○できるだけ班の全員がボールに触れるようにして、円陣パスを行う。

○床にボールがつかないようにパスをして、風船が落ちたら、班全員がその場に座る。

○最後まで残っていた班から得点する。先生方に判定してもらおう。

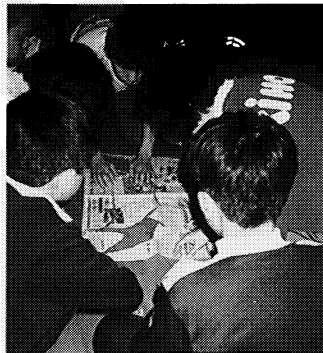
△新聞紙パズル▽

○新聞紙を班ごとに一枚もらう。

○各班ごとに新聞紙を十回引き裂く。

○班ごと移動して、他の班が破いた新聞紙をパズル形式で合わせる。

○早く合わせた班から得点する。



新聞紙パズルの活動

5 事後の学習内容

○反省事項について

○自主的に参加できたか

○規律正しく生活できたか

○自分の役割をきちんと果たしたか

○仲間と仲良く、楽しく過ごせたか

○公共物を大切にできたか

○楽しかったこと、つらかったこととは何か

○次年度に改善すべきところは何か

(2) 宿泊学習の思い出を絵や作文に表わす。

(3) お世話になった先生方や班員の友だちにお礼の手紙を書く。

(4) 学級新聞で「合同宿泊学習」の様子を紹介する。

(5) 生活記録のまとめをする。

三 おわりに

期間中は雨天日が多く、野外活動のほとんどの計画ができませんでしたが、室内学習やミニ運動会、その他の活動の場では、誘い合ったり、一緒に行動したり、班内で助け合うなど、好ましい様子が見られ、表情も生き生きと感じられました。

担任としても、学校では見られない面が観察でき、実態を把握する上からも大変貴重な機会だと思われ

ます。

また、合同宿泊学習は、生徒の興味・関心も高く、社会的自立に繋がるよりよい変容が期待できる行事なので、継続して実施できることを心から願っております。